

平成28年12月22日開催教育委員会会議記録

1 開会・閉会等について

日時	平成28年12月22日(木) 午後3時00分
場所	教育委員会室
開会	午後3時00分
閉会	午後3時34分
出席委員	
教 育 長	加 藤 裕 之
委 員	雁 部 隆 治
委 員	阿 部 博 道
委 員	坂 根 慶 子
委 員	淺 松 三 平
説明のために出席した職員	
教育委員会事務局次長	後 藤 隆 宏
教育委員会事務局参事 (庶務課長事務取扱)	岸 川 紀 子
教育委員会事務局参事 (すみだ教育研究所長事務取扱)	高 橋 宏 幸
学 務 課 長	須 藤 浩 司
指 導 室 長	月 田 行 俊
生涯学習課長	岡 本 香 織
スポーツ振興課長	佐 久 間 英 樹
ひきふね図書館長	石 原 恵 美

2 議題について

(1) 議決事項

第1 議案第105号 平成29年度における主要な教育課題について

(2) 報告事項

第1 平成28年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(東京都教育委員会)の結果について

第2 教育課題の進捗状況について

3 会議の概要について

教育長 ただ今から教育委員会を開会します。本日の会議録署名人は阿部委員にお願いします。本

日は、議決事項1件、報告事項2件を予定しております。

議決事項第1・・・資料P1～4

議案第105号「平成29年度における主要な教育課題について」上程し、指導室長が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの説明について、何かご質疑・ご意見はありますか。

坂根委員 1(4)国際理解教育の推進の最初のところです。国際社会で活躍することのできる生徒を育成。これは、実際に「生徒」ではなく、「人材になるような生徒」ということで、ここでいきなり生徒というのは、少し馴染まない気がします。生徒だって国際社会で活躍できることもありますけれども、それが目的みたいになると、非常に高邁な理想であり過ぎると思います。それから2(5)個別の課題に応じた適切な指導の推進の最後にある、外国につながるのある子供の文化的背景だけではなく、文化的背景・生活習慣としたほうがいいと思います。それから、日本語習得、これは日本語指導能力、子どもだけで保護者に対して何も書いていないというのは、少し視点が欠けていると思います。子どもだけではなくて、むしろその保護者に対する文化的背景や生活習慣の理解とかそういうことが必要なので、その辺りのところも少し入れていただければと考えました。

教育長 このことについて、指導室長よろしいですか。ご意見をいただいた点をまとめてもらい、それで検討するならそうするということがいかがでしょうか。

指導室長 それでは、「...国際社会で活躍することのできる生徒」の「生徒」を「人材」というご指摘ですので、そのようにしたいと思います。それから、もう1つの生活習慣のところですが、こちらについては文化的背景のままでよろしいと思います。ここは子どもの指導のことに関しての項目で書かせていただいているので、それを保護者のところを触れるというのは、実際には当然それが起こり得ると思います。ここは、子どもに特化した教育課題になっていますので、今後、こちらとは別の時点でこのことについては考えさせていただきたいと思います。

坂根委員 分かりました。

教育長 私の方からは、5(4)教員の人権感覚や危機管理意識の向上の説明の最後に、「貧困に起因する問題や虐待等学校だけでは解決できない問題について...組織的な体制づくりや教員の意識醸成を図る...」とありますが、醸成というと徐々にということですね。これは逆にスピード感を持って意識改革してもらわないと困ることではないでしょうか。

指導室長 では、「意識醸成」を「意識向上」とします。

坂根委員 3(1)地域の人材を活用した教育の推進の項目の1番目にある「...子供の地域を愛する心情を育成し...」とありますが、心情は育成できないと思いますので、心を育成し、でよろしいと思います。心情というのは、心の中の思いですから、それを育成するということは少し文言として不適當ではないかと思えます。

指導室長 これについては、文科省にある道徳の中で「心情の育成を図る」という項目で書かれているものです。

坂根委員 でも、「育成を図る」というのと、「育成をし、」というのは違うでしょう。

指導室長 ですから、文科省の方では「心情を育てる」という言い方をしています。

坂根委員 でも、文科省のとおりになくても、やはりこの中では心でよろしいのではないですか。文科省の中の条文など全部で、育成と使うのが適当かわかりません。必ずしも同じ文ではありませんから。

指導室長 分かりました。では、「心の育成」としたいと思います。

教育長 雁部委員いかがですか。何か気になることはありませんか。

雁部委員 今の3番(1)(2)は、「子供が」という文言で始まっていますが、「子供たちが」の方がよいのではないかとおは思いました。何かこれは意図的に「子供が」と言うと、「特定の子供」というふうに捉えることもできるかと思ひ、少し気になりました。

教育長 これについて、事務局はいかがですか。

指導室長 意図的に集団で何かを育成するようなことを考えたときには、比較的「子供たち」という言い方をし、一人一人というような言い方のときには、「子供」という言い方で意識しています。

教育長 そういう使い分けをしているということですか。

指導室長 はい。

雁部委員 それは「一般の子供」という意味ですか。

指導室長 はい。

坂根委員 日本語の場合は、特に子供の場合は複数形というのがありませんから、一人でも複数でも「子供」と言います。

教育長 では、全体的な「てにをは」については、若干修正いたしますが、内容としてはこれで決めたいと思います。それでは、議案第105号は原案どおり決定することにしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 それでは、原案どおり決定することにします。

報告事項第1・・・資料P5～7

平成28年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(東京都教育委員会)の結果について、すみだ教育研究所長が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの説明について、何かご質疑・ご意見はありますか。

坂根委員 先日、区中研の中学校数学の授業を区内の中学校で参観いたしまして、大変に習熟度別クラスというのがよくできていると感じました。この資料の練習問題レベルの問題ができるようにするためという点ですが、これは教科書の練習問題がどういうものか、それを授業でどれくらいするかなど、その説明がなされているかどうかわからなかったもので、それをもう少し情報提供のときに必要かと思ひます。それから、統括指導主事もその場にいらしていたので、少し話題になったのが、語彙の理解ができないことです。例えば「線分」、数学では「線分」と普通に言いますが、一般には「線分って何?」というような疑問がでるでしょう。「直線」と「線分」の言い方の違い、まずは、そういうような語彙の理解をするということが必要かと思ひます。その辺りの情報提供が学習向上についても一番必要なことだと考えます。

すみだ教育研究所長 今言われたところを踏まえまして、授業改善ヒアリング等、そういった例題レベルの説明をどのようになされているか、また、指導室とすみだ教育研究所の統括指導主事が同席しますので、その辺りについての理解の度合いを確認しながら、そこを踏まえた授業を展開するように、更に指導、支援していきたいと思ひます。

報告事項第2・・・資料P8～9

「教育課題の進捗状況について」、所管課長が資料のとおり説明する。

庶務課長（学校ICT化の推進について説明）

教育長 ただいまの説明について、何かご質疑・ご意見はありますか。

（質疑・意見なし）

すみだ教育研究所長（すみだ教育指針の策定、学力向上新3か年計画の実施、幼保小中一貫教育の推進について説明）

教育長 ただいまの説明について、何かご質疑・ご意見はありますか。

浅松委員 区民文教委員会12月1日の報告の際に、いくつか課題が指摘されたということですが、1つでもよいので教えてください。

すみだ教育研究所長 例えば大学の誘致を今進めているところですが、その辺りの記述について薄いというお話、また、認定こども園とかは進んでいるので、幼児教育とかそういったところについても、少し言及したほうがよいのではないかとといったような話が出ておりました。

浅松委員 分かりました。

スポーツ振興課長（（仮称）総合運動場等整備事業について説明）

教育長 ただいまの説明について、何かご質疑・ご意見はありますか。

（質疑・意見なし）

その他

中川小学校65周年行事について

坂根委員 12月17日に中川小学校の65周年行事に参りました。5周年ということもあり出席した来賓などもそれほど多くなく、なかなかフレンドリーでよかったと思います。私がした挨拶も分かりやすかったようで、1年生から6年生まで全学年が熱心によく聞いておりました。それからもう1点、先日行われた中学生区議会についてです。今年は人数も多く、なかなか活発な意見も出たことは結構なことだと思います。ただ、個々の委員会で色々お答えになった行政側の職員の方の答弁が、何だか議会での答弁のような感じがありまして、子どもたちの質問に対して、少し遠いところの答えに持っていったり、行政のやっていることの宣伝になったりするようなきらいがあったと思います。全部見ているわけではありませんが、庶務課長なんかはきちんとお答えになっていたように思います。それからそのときの行政で使う用語の一部が子どもたちに分かりにくかったです。例えば高齢者の「りびようサービス」、一度目に聞いたときは私もよく分からず、二度目に聞いて「理容と美容」と二つを合わせた言葉と分かったのですが、隣で同じく聞いていらした校長先生に今の説明で分かりましたかと尋ねましたら「分からないでしょうね」と言う答えでした。そういう用語を子どもたちに対してはきちんとわかるように使っていただきたいと、これは行政側の職員の方たちにぜひお願いしたいと思います。それからもう1点申し上げます。人権同和・男女共同参画課の「男女共同参画川柳大会」についてです。「すずかけ（すみだ女性センター広報紙）」に入賞した全句が掲載されておりますのでどうぞご覧ください。各学校にはお願いしておきましたのでよろしく伝達をお願いいたします。

吾孺第二中学校の校舎内覧について

浅松委員 12月12日に吾孺第二中学校を内覧させていただきありがとうございました。素晴らしい学校ができるのだなと思ったのですが、ひとつ教育長も感じていたと思うのですが屋上の手す

りの部分ですとか、中央階段のちょうど玄関から入っていくところの階段がそうなのですけれども、持ったときに下が鋭利で、たぶん子どもたちのことですから手すりを持ちながらすすすと下がっていったりとすることもあり、これは手の平が切れてしまうと思いました。特に屋上のステンレスも金属だったので握った時に感じました。少しそこの工事の関係者の方や学校には伝えたのですが、帰り際に時間もなかったものですからその部分について話ができなかったので、その後引越しされ1月からですよ、やすりで磨いて丸くすると言っていたのですが、そこが気になっていたのでのようになったのか、大丈夫ですよ。

庶務課長 ご指摘をいただきまして、私共の工事担当の方でもそこを危なくないように少し磨いて丸くするようにいたしました。

浅松委員 階段の手すりですからかなり上の方まであるので大変だなとは思ったのですが。

庶務課長 はい、子どもたちが十分安全に使用できるようにいたしました。

浅松委員 副校長も言っていたのですが、これからはハードだけではなくてソフトの部分で活用するにあたって色々また課題があるかもしれないのですけれども、素晴らしいスペースだと思いますので有効に活用し、いい学校にしていってください。

庶務課長 ありがとうございます。

坂根委員 副校長先生が言っていたのですが、壁の形状がコンクリートの打ちっぱなしで、少しギザギザなど出ているところがありますので、サンドペーパーをかけるとのことでした。

庶務課長 はい、そういった部分でまだやらなければならない箇所があると思いますが十分に気を付けて子どもたちに事故がないようにしていきたいと思います。

教育長 以上で、教育委員会を閉会します。